

# 災害から身を守る シリーズⅠ：知る

平成30年7月豪雨では、町内でも多数の土砂災害が発生し、甚大な被害を受けました。今後の台風や大雨に備え、日ごろから命を守るための準備をしておきましょう。

## ☑ 危険箇所について知る

自分の住んでいる地域の危険箇所を確認しておきましょう。山や川、崖などの急傾斜地が近い地域では、土砂災害が発生する可能性が高く、近くにため池がある所も決壊の可能性などに注意が必要です。大雨の際には、早め早めの避難ができるよう、日ごろから備えておくことを心がけましょう。

○危険箇所の例（『土砂災害ポータルひろしま』より）



熊野町が作成したハザードマップ、土砂災害ポータルひろしまなどのホームページも活用し、積極的に情報を集めましょう

### ▷熊野町ハザードマップ

配布場所／役場3階 危機管理課 お求めの際は窓口までお声かけください。また、ハザードマップの情報は熊野町ホームページでもご確認いただけます。  
(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp/www/genre/1526616612831/index.html>)



### ▷土砂災害ポータルひろしま

土砂災害の発生の危険性がある区域や、土砂災害に関する警戒情報などを発信しています。( <http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx> )



## ☑ 避難のタイミングについて知る

雨の場合、大まかな目安として、時間雨量20ミリまたは累加雨量100ミリを超えると、前兆現象が起こりやすくなります。気象庁の発表する気象警報・注意報や熊野町が発令する避難情報に注意し、避難行動に結び付けましょう。



○時間雨量の目安（気象庁ホームページより）

時間雨量と天気予報用語	外出中	屋内（木造住宅など）	屋外の様子
10～20mm（やや強い雨）	地面からの跳ね返りで足もとがぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる
20～30mm（強い雨）	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	
30～50mm（激しい雨）			道路が川のようになる
50～80mm（非常に激しい雨）	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
80mm以上（猛烈な雨）			

地面の状態や、周りの音などを目安にしながら、随時、テレビやインターネットでも警報などを確認するようしましょう。

●熊野町が発令する避難情報一覧（防災行政無線やエリアメールなどでお知らせします）

避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間がかかる人（高齢者、身体の不自由な人、乳幼児など）とその支援者は避難を開始 その他の人は、持出し品用意など、避難準備。
避難勧告	速やかに避難場所に避難を開始 外出することでかえって命に危険が及ぶ場合は、近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所に避難。
避難指示（緊急）	まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難 外出することでかえって命に危険が及ぶ場合は、近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所に避難。

## ☑ どう避難するか知る

### 1. 最寄りの避難所を確認する

事前に最寄りの避難所を確認しておき、どこに避難するか決めておきましょう。

#### 避難所・福祉避難所（★印）一覧

★介護老人保健施設 熊野ゆうあいホーム	出来庭三丁目4番67号	各避難所の情報についての問合せ先
★グループホームくまの	中溝一丁目4番6号	
★熊野町中央地域健康センター（町民会館隣）	中溝一丁目11番1号	
熊野町公民館（町民会館）	中溝一丁目11番2号	
★熊野町老人福祉センター（町民会館内）	中溝一丁目11番2号	
第一小学校体育館	中溝四丁目4番1号	
熊野中央ふれあい館	中溝四丁目7番16号	
熊野中学校体育館	中溝六丁目1番1号	
★社会福祉法人 成城会	城之堀二丁目28番1号	
熊野町東部地域健康センター	新宮二丁目12番1号	
熊野町民体育館	川角五丁目10番1号	役場総合案内 ☎820-5600 危機管理課 ☎820-5631
第四小学校体育館	川角五丁目13番1号	
熊野町西部地域健康センター	貴船6番1号	
第三小学校体育館	貴船15番1号	
くまの・みらい交流館	神田15番4号	

※避難所：土砂災害のおそれがある場合の避難所

※福祉避難所：高齢者、身体の不自由な人、乳幼児等配慮が必要な人のための避難所

### 2. 避難経路・避難方法を確認する

自分の家から最寄りの避難所までの経路を確認しましょう。河川や崖の近くなどの危険な箇所はできるだけ通らないことを意識し、また、自力での避難が困難な場合は、事前に民生委員や近所の人に協力を願いましょう。

避難する際には、渋滞や浸水により立往生する可能性があるため、車による避難は控え、できるだけ徒歩で避難をしましょう。

避難のための備蓄品、災害時の情報収集方法などについては、10月号（シリーズⅡ）にてお知らせします。

☎危機管理課 ☎820-5631